

地 域 保 健 課

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、母子保健、成人・老人保健、精神保健福祉、一人ひとりに応じた健康支援、栄養改善、健康づくり等広域的・専門的な事業を、管内両市をはじめ保健・医療・福祉等関係機関と連携を図りながら実施している。

1 保健師関係指導事業

保健師活動報告として、保健所及び管内市等の活動状況及び就業状況を把握し、保健師等の研修及び現任教育に関することとして、所内保健師研究会、管内保健師業務連絡研究会、保健所保健師ブロック研修会等を実施している。

また、日ごろの保健活動の実績、評価、課題をまとめ、保健師の資質向上、地域の保健福祉活動の改善を図っている。

(1) 管内概況

当管内の保健師就業数は、健康福祉センター15人、市川市72人、浦安市30人である。

健康福祉センター保健師は、3課（総務企画課、地域保健課、疾病対策課）に配置されて活動し、両市とは業務を分担している。

表1－(1) 管内保健師就業状況（各年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成26年度	103	15	62	8	13	5
平成27年度	107	16	59	21	6	5
平成28年度	117	15	67	27	2	6
市 川 市	72	-	47	20	0	5
浦 安 市	30	-	20	7	2	1

(2) 保健所保健師活動

保健師は総務企画課、地域保健課及び疾病対策課に配属され、所属内の他職種をはじめ、管内市や関係機関と連携を図りながら広域的及び専門的な各種保健指導業務を実施している。

また、保健活動の推進のため、管内市保健師等、保健従事者の活動状況や就労状況の把握につとめ研修会等をととして現任教育に取り組んでいる。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成29年3月31日現在）

(単位：件)

区 分 種 別	家 庭 訪 問		訪 問 以 外 の 保 健 指 導				個 別 の 連 携 ・ 連 絡 調 整
			面 接		電 話	メー ル	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数(再掲：会議)
総 数	275	569	988	1,326	2269	65	1,086(82)
感 染 症	35	39	4	4	123	2	24(6)
結 核	81	258	158	305	512	0	50(48)
精 神 障 害	35	112	30	58	276	0	947(15)
長 期 療 養 児	22	24	139	204	111	0	41(2)
難 病	19	23	54	151	73	0	15(11)
生 活 習 慣 病	5	30	0	0	1	0	－
そ の 他 の 疾 病	1	6	1	1	20	0	－
妊 産 婦	－	－	0	0	3	0	－
低 出 生 体 重 児	－	－	－	－	－	－	－
(未 熟 児)	－	－	－	－	－	－	－
乳 幼 児	－	－	0	0	22	0	9(0)
そ の 他	77	77	602	603	1128	63	－
訪 問 延 世 帯 数	110	210					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催月日	テーマ	主な内容	参加人数
平成28年 4月28日	今年度保健事業の実施について	1) 新人及び異動職員紹介 2) 平成28年度重点事業 3) 平成28年度管内研開催にあたり実施したアンケート結果について 4) グループワーク	28人
平成28年 7月25日	母子保健とメンタルヘルス	講演「メンタルヘルスが気になる親への保健師による育児支援」 講師：東京大学医学部大学院健康科学・看護学専攻 蔭山正子氏	36人
平成28年 9月13日	健康課題とデータの活用	1) 報告 各市からKDBデータの活用状況 2) 講演 「データヘルスの活用～KDBデータの活用健康課題と事業展開への活用～」 講師：千葉県病院局長 矢島鉄也氏	37人
平成28年 11月14日	保健師業務と業務研究集録、事業評価	1) 意見交換及び助言：助言 石丸先生 保健活動業務研究提出演題、公衆衛生学会提出演題・各市の保健活動、事業を振り返る 2) 講演 「業務研究を通じて事業評価をしよう」 講師 千葉大学看護学部准教授 石丸美奈氏	18人

イ 所内保健師研究会

表1－（3）－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人数
平成28年 5月10日	・自己紹介 ・新任期の現任教育について ・各課業務紹介と重点的取組紹介 ・次回以降の内容について ・保健活動業務研究について	12人
平成28年 7月26日	疫学調査の手法を学ぶ 感染症発生時の疫学調査について実際のケースを想定し、2名1組になってロールプレイ	14人
平成28年 11月8日	保健師活動業務研究の原稿提出前の検討 「思春期健康教育教材作成を通してみえた学校保健との連携のあり方(案)」	9人
平成29年 2月21日	・平成28年度 保健活動業務研究報告 ・新任期を振り返る ・災害時マニュアルについて ・平成29年度所内保健師業務連絡研究会実施予定について	11人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

当健康福祉センターは、東葛ブロック（習志野・松戸・野田健康福祉センター）に所属し、毎年共同で実施している。平成28年度については、野田健康福祉センターが主体で開催した。

表1－（3）－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人数
－	－	－

2 母子保健事業

母子保健推進協議会や母子保健関係研修会、長期療養児支援事業等を通して、管内の母子保健や長期療養児支援等の推進を図っている。

また、特定不妊治療費助成事業、小児慢性特定疾病医療費助成制度事業等の医療費助成制度の窓口を担当している。

(1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健事業が効果的に推進できるよう行政機関・医師会・医療機関等の代表者から構成される協議会で母子保健事業に関することを協議した。

表 2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開 年 月 日	催 員 数	主 な 協 議 内 容
平成 29 年 2 月 7 日	15 人	議題「地域連携で進める妊娠期からの切れ目ない支援体制づくり」 (1) 管内の母子保健水準について (2) 管内の母子保健事業実績および計画・進捗状況について (3) 意見交換

(2) 母子保健関係研修会

母子保健活動において健康福祉センターと市が情報共有し、よりよい母子保健サービスの提供を目指すための管内母子保健担当者連絡会と、母子保健推進員等の資質向上を図るための母子保健推進員研修会、長期療養児支援における医療・保健・福祉分野の相互理解促進のための研修会を開催した。

表 2 - (2) 母子保健関係研修会実施状況

研 修 会 の 名 称	開 年 月 日	参加人数・職種	内 容
市・保健所担当者連絡会	平成 28 年 5 月 25 日	市川市保健師 2 人 浦安市保健師 2 人 保健所保健師 5 人	内容 (1) 担当者紹介 (2) 平成 28 年度管内の母子保健事業について (3) 災害対策について
母子保健推進員研修会	平成 28 年 10 月 24 日	市川市保健推進員 10 人 浦安市母子保健推進員 25 人 保健師 12 人	講演「育てにくさ」にどう対応する?～発達障害とその支援～ 講師 こども発達支援センターそらいろ 理事長 中島展氏
新生児・妊産婦訪問指導従事者研修会	平成 28 年 12 月 20 日	母子保健推進員 20 人 助産師 18 人	講演「乳幼児の病院受診の目安について」 講師 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科医師 白戸由理氏
小児在宅療養支援者研修会 ※小児慢性特定疾病児童等自立支援事業と合同で実施。	平成 28 年 11 月 22 日	病院、訪問看護ステーション、相談事業所、訪問介護事業所、保健・福祉行政機関等 22 人	1) 講演 「小児在宅療養支援における注意点、多職種連携のポイント」 講師 ・東京ベイ・浦安市川医療センター 小児科医師 安西有紀氏 ・順天堂大学医学部附属浦安病院 小児専門看護師 菅原淳氏 ・総合リハビリ研究所 理学療法士 阿部直紀氏 ・ユニマインド 相談支援専門員 竹野敬一氏 ・まちなのナースステーション八千代 看護師 福田裕子氏 2) 事例検討

(3) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第 25 条により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告書に基づき、妊娠週数別年齢別に届出数を記載した。ただし、届出数は管外分も含まれる。

20 歳未満の人工妊娠中絶は 19 件 (4%) であった。

表 2－(3) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区 分 妊 娠 週 数	平成 26 年度	平成 27 年度	平 成 2 8 年 度									
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 未 満 24	25 歳 未 満 29	30 歳 未 満 34	35 歳 未 満 39	40 歳 未 満 44	45 歳 未 満 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	535	547	439	19	94	83	78	94	66	5	0	0
満 7 週以前	274	285	242	4	53	40	45	61	37	2	0	0
満 8 週～満 11 週	225	217	156	10	37	38	25	26	17	3	0	0
満 12 週～満 15 週	6	14	16	4	1	1	5	3	2	0	0	0
満 16 週～満 19 週	18	16	10	0	2	2	2	1	3	0	0	0
満 20 週～満 21 週	12	15	15	1	1	2	1	3	7	0	0	0
不 詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 特定不妊治療費助成事業

平成 17 年 1 月 1 日から、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づき特定不妊治療（体外受精及び顕微授精、男性不妊治療）を実施した場合、費用の一部を助成している。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表 2－(4)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	内 訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成 26 年度	4 5 0	7 8 5	1 5 6	2 8 8	0 (0)	3 4 1
平成 27 年度	5 2 6	8 9 7	1 6 6	3 6 2	0 (0)	3 6 9
平成 28 年度	4 9 2	8 3 9	1 4 4	3 3 3	4 (2)	3 5 8

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

(5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成を図るため、当該疾患の治療方法に関する研究等に資する医療の給付を行っている。

表 2－(5) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況
(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：件)

疾 患 名		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度市別内訳	
					市 川 市	浦 安 市
総 数		463	508	495	346	149
1	悪性新生物	58	59	62	47	15
2	慢性腎疾患	37	40	40	28	12
3	慢性呼吸器疾患	12	12	13	8	5
4	慢性心疾患	98	112	111	84	27
5	内分泌疾患	129	137	124	85	39
6	膠原病	14	13	15	9	6
7	糖尿病	31	34	28	18	10
8	先天性代謝異常	15	13	10	5	5
	血友病等血液・免疫疾患 (旧制度)	—	—	—	—	—
* 9	血液疾患	17	19	19	12	7
*10	免疫疾患	8	8	5	4	1
11	神経・筋疾患	22	28	30	18	12
12	慢性消化器疾患	20	29	33	25	8
*13	染色体又は遺伝子に変化を伴う 症候群	1	3	4	3	1
*14	皮膚疾患	1	1	1	0	1

*9 血液疾患・10 免疫疾患・13 染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患・14 皮膚疾患については、新制度となり新しく登録された疾患である。

(6) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第 21 条の 9）は、結核で長期療養を必要とする児童を病院（指定療育機関）に入院させ適正な医療を行い、医療給付を行うとともに学校教育を受けさせ、これに必要な学用品を支給し、かつ療養生活指導を行い必要に応じて日用品の支給を行うものである。平成 28 年度の申請者はなかった。

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性疾患を持った児や保護者が孤立することなく、社会とつながり、地域で安心して療養生活を送れることを目的に交流会を実施した。また、在宅療養支援体制の充実を図ることを目的に、管内で先駆的に在宅療養支援に取り組んでいる専門家からの講演や様々な職種の支援者で研修会、情報交換会等を実施した。(母子連絡会と共同開催)

表2－(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	実施 年月日	参加人数内訳	内 容
平成28年度小児慢性腎疾患講演会・交流会	平成28年 9月8日	保護者4人 養護教諭4人	1) 講演会 「慢性腎疾患児の治療・社会生活・予防接種」 講師 国立成育医療研究センター 医師 亀井 宏一氏 2) 交流会 助言者 国立成育医療研究センター 医師 亀井宏一氏 東京「腎炎・ネフローゼ児」を守る会 杉野 佐代子氏
小児在宅療養支援者研修会	平成28年 11月22日	病院、訪問看護ステーション、相談事業所、訪問介護事業所、保健・福祉行政機関等 22人	1) 講演 「小児在宅療養支援における注意点、多職種連携のポイント」 講師 ・東京ベイ・浦安市川医療センター 小児科医師 安西有紀氏 ・順天堂大学医学部附属浦安病院 小児専門看護師 菅原淳氏 ・総合リハビリ研究所 理学療法士 阿部直紀氏 ・ユニマインド 相談支援専門員 竹野敬一氏 ・まちのナースステーション八千代 看護師 福田裕子氏 2) 事例検討

(8) 思春期保健相談事業

思春期のメンタルヘルスに関わる健康課題について、学校関係者と連携して、関係者の資質向上を図るための共同勉強会を実施した。また平成 26 年度に実施した「学校保健における健康課題と取組に関するアンケート」結果をもとに、平成 27 年度には、管内県立高校養護教諭と共同で、「思春期の心と体、コミュニケーションの取り方」についての健康教育教材を作成した。共同作成をした養護教諭が勤務する高校にて、平成 27 年度と同様に作成した教材を用いて、健康教育を実施した。また、平成 28 年 3 月に配布した本教材の普及を目的に、市川市内の小・中学校の養護教諭を対象に、教材紹介を行った。

表 2－(8)－ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加人数	内 容
思春期精神保健に関する「地域保健・学校保健共同勉強会」	平成 28 年 12 月 22 日	学校関係者 16 人 地域保健関係者 2 人	1) 講演 「思春期～青年期に多くみられる 精神・心理的問題と対応」 講師 国立国際医療研究センター 国府台病院児童精神科 医師 宇佐美 政英 氏 2) 情報交換会

表 2－(8)－イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加人数	内 容
思春期健康教育講演会	平成 28 年 6 月 16 日	県立市川工業高校 1 年生 男子 183 人 女子 53 人 計 236 人	講義・実技 「自分を知ろう！ 『こころ』元気にすごすコツ」 講師 市川工業高等学校養護教諭 池田 恵氏 市川健康福祉センター 地域保健課 保健師

(9) 乳幼児救急医療講習会

保育士等乳幼児に関わる職種や保護者等に対して、講義・実習を通じて救急児の対応の習得を図ることを目的とした講習会を実施している。

表2－(9) 乳幼児救急医療講習会実施状況

研修会の名称	開 年 月 日	参加人数 職種	内 容
乳幼児安全法 講習会	平成28年 12月8日	管内認可外保育園保育士19人	講習会 「子どもの食物アレルギー ～どんな症状？どうすれば？～」 講 師 あすみが丘7丁目クリニック院長 (元千葉県こども病院アレルギー科主任医長) 永山 洋子 氏

(10) 遺伝相談

平成5年度から遺伝に関連した悩みを持つ方の不安の軽減と正しい知識の普及を目的に相談事業を開催しており、平成27年度は、相談が8件で専門家の相談日に6名の来所者があった。

また、県内保健所で唯一遺伝相談を開催しているため、管外からの相談も受け付けている。

表2－(10) 遺伝相談実施状況

(単位：件)

区分 年度	開催回数	相談件数	相談結果		
			終了	他機関紹介	継 続
平成26年度	2	4	4	0	0
平成27年度	3	6	5	1	0
平成28年度	2	2	2	0	0
平成28年度の相談内容(件)	疾患(知的障害)の遺伝性有無に関すること：1 遺伝性疾患(転座)の保因者について：1				

3 成人・老人保健事業

健康増進法による健康増進事業は、①健康手帳の交付②健康教育③健康相談④健康診査⑤機能訓練⑥訪問指導の6事業があり、市町村が主体となり市川市及び浦安市が実施している。保健所は市町村のがん検診受診率向上のための支援として、がん検診推進員の育成をしている。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設9施設・訪問看護ステーション22施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、習志野健康福祉センター監査指導課と合同で、2施設について実地指導を行った。

表3－(1) 介護老人保健施設実地指導状況

実 施 年 月 日	介 護 老 人 保 健 施 設
平成28年8月2日	介護老人保健施設 グレースケア市川
平成28年9月8日	介護老人保健施設 ハートケア市川

(2) がん検診推進員育成講習会

各地域におけるがん検診の受診率の向上を図ることを目的とし、各市の健康推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等や地域でがん検診を効果的に推進できる方に対し、がん検診推進員として声かけ運動等を実施する人材を育成する講習会を行っている。

ブロック毎に 隔年で実施しており、平成28年度は、当健康福祉センターが実施した。

表3－(2) がん検診推進員育成講習会

開 年 月 日	参 加 人 数	内 容
平成28年 10月28日	市川市推進員14人 浦安市推進員9人 保健師7人	講演 肺がんの予防・早期発見のために ～肺がん検診と禁煙ポイント～ 講師 公益財団法人ちば県民保健予防財団診療部 健診・ドック科部長 山地 治子氏

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確な自己管理ができるよう支援することを目的とし、性別やライフステージに応じた健康教育と、電話相談を実施した。

(1) 健康教育事業

(思春期保健相談事業、思春期保健事業講演会と合同開催)

思春期の年齢にある子どもが自らを知り、コントロールできるようになることを目的に、心と体の変化、望ましい生活習慣、良好なコミュニケーションの取り方等について、高校生を対象に健康教育を実施した。

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師による電話相談を実施した。

表4－(2) 健康相談実施状況(電話)

(単位：件)

年度 \ 区分	男 性	女 性	総 数
平成26年度	8	40	48
平成27年度	5	25	30
平成28年度	20	45	65

5 総合的な自殺対策推進事業

管内は、若年層の多い地域のため、若年層自殺割合が高くなっている。思春期保健と連携し、高校生、学校教育関係者等に対して心の健康づくりについての普及啓発を行っている。また、当センターで実施する研修会において、啓発チラシの配布を行った。

6 地域・職域連携推進事業

管内の地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るために、行政機関、事業所及び医療保険者等の関係者が相互の情報交換を行い、保健医療資源の相互活用、又は保健事業の共同実施等により、地域特性に応じた継続的な健康管理が可能となるよう取り組んでいる。地域・職域連携推進協議会は年1回、作業部会は年2回開催した。協議会は、医師会・歯科医師会・薬剤師会・商工会議所・労働基準監督署・職域保健関係・地域保健関係から構成されている。

表6－（1）市川浦安 地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加人数	主 な 内 容
平成29年2月20日	18人	- 管内の健康状況と健康課題について共有 - 平成28年度 事業報告について - 事業概要について、各機関の活動報告 - 平成29年度事業計画（案）について

表6－（2）市川浦安 地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加人数	主 な 内 容
平成28年7月28日	10人	- 今年度事業計画及び事業概要 - 事業の取り組み状況と評価指標の設定について
平成28年11月1日	6人	- 職域との連携について - 特定健診と職域における健診の連携について - 今後の連携について

表6－（3）共同事業開催状況

開催年月日	主 な 内 容
第1回（浦安支部） 平成28年9月6日 第2回（市川支部） 平成28年9月9日	（1） 職域への受動喫煙対策に関する講演会の実施 （一社）船橋労働基準協会「労働衛生週間説明会」における普及啓発 講演「従業員の健康を会社の健康会計アップにつなげる ～たばこ対策を中心に～」 講師 TONEヘルスケア代表 利根川豊子氏 （浦安支部は昨年度アンケート結果の説明のみ） 第1回参加人数114人、第2回参加人数116人
第1回（ベイト葛南支部） 平成28年10月24日 第2回（市川支部） 平成28年10月31日	（2） 千葉県理容生活衛生同業組合「衛生講習会」における講演会 講演「健康経営は、理容で働く方とお客様の受動喫煙防止対策で！」 講師 TONEヘルスケア代表 利根川豊子氏 第1回参加人数51人、第2回参加人数64人
平成29年1月27日	（3） 地域・職域における健康づくり推進研修会 講演「健康・栄養情報の発信 ～人を動かすツボを押さえた行動デザイン～」 講師 (株)博報堂行動デザイン研究所長 國田圭作氏 参加人数 地域職域保健の管理栄養士・保健師、 給食施設・健康管理部門担当者等 21人

7 栄養改善事業

特定健診の結果から、管内2市ともに、メタボリックシンドロームの標準化該当比が県平均より高い（浦安市の女性を除く）。メタボリックシンドロームの予備群または該当者は、2市ともに男性で約47%、女性では市川市で15.5%、浦安市で14.0%である（県平均：男性44.0%、女性14.7%。以上、平成26年特定健診・特定保健指導のデータ分析結果）。

平成28年度は、管内住民の生活習慣病等を招く食生活の要因等を明らかにするとともに対策を講じられるよう、新たに「地域における健康づくり推進事業」を開始した。

特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく栄養管理が実施されるよう、研修会の開催及び個別巡回指導等を通じた指導及び支援を実施した。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

広域的又は専門的な知識及び技術を必要とする栄養指導や病態に応じたQOL向上のための栄養指導などを実施した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人数									集団指導延人数						
		栄養 指導	(再掲) 病態別 栄養 指導	(再掲) 訪問こ よる栄 養指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運動 指導	休養 指導	禁煙 指導	その他	栄養 指導	(再掲) 病態別 栄養 指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運動 指導	休養 指導	禁煙 指導	その他	
実施数	妊 産 婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乳 幼 児	-	-	-					-	-	-					-	
	20 歳未満 (妊産婦・乳幼 児を除く)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20 歳以上 (妊産婦を除く)	50	4	-	-	-	-	-	-	42	13	-	-	-	-	-	
(再掲)医療機関等へ委託	妊 産 婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乳 幼 児	-	-	-					-	-	-					-	
	20 歳未満 (妊産婦・乳幼 児を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20 歳以上 (妊産婦を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表 7－（１）－ア 病態別個別指導状況 （単位：人）

種別 \ 区分	計	生活 習慣病	難病	アレルギー 疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	4	1	－	1	－	2
病態別運動指導	0	－	－	－	－	－

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表 7－（１）－イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加人数	内 容
潰瘍性大腸炎の方のお食事相談会	平成 29 年 2 月 2 日 及び 2 月 8 日	特定疾患（潰瘍性大腸炎）新規受給者	13 人	（ア）講話「潰瘍性大腸炎の食事・生活について」 （イ）食事相談・情報交換会 講師：東京医科歯科大学医学部 附属病院臨床栄養部 副部長 管理栄養士 斎藤恵子氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表 7－（１）－ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加 人数	内 容
管内栄養関係事業担当者業務連絡会	平成 28 年 7 月 25 日 及び 9 月 30 日	管内行政栄養士	11 人	第 1 回 ①説明「管内の健康・栄養課題について」 ②情報交換・検討「管内の健康・栄養課題を招く食環境及び食習慣の特徴」 第 2 回 検討「管内の健康・栄養課題の背景にある食習慣及び食環境を把握・改善するための事業展開」
管内飲食店等における栄養課題の把握	平成 28 年 5 月 9 日～31 日 の 4 日間、 11 月 30 日	管内飲食店等関係者	167 人	管内飲食店等関係者への食事アンケート
管内飲食店等に対する望ましい食生活の啓発	平成 28 年 5 月 9 日～31 日 の 4 日間、	管内飲食店等関係者	526 人	管内における栄養課題の周知並びに食生活リーフレットの配付・説明
食品衛生指導員向けの健康教育	平成 28 年 7 月 21 日	管内食品衛生指導員	76 人	管内飲食店等関係者への食事アンケート結果の報告と啓発
地域における健康づくり推進研修会	平成 28 年 12 月 26 日	管内市保健師・栄養士、食生活改善推進員等ボランティア、調理師会会員等、管内給食施設関係者	29 人	①オリエンテーション「管内の肥満と食生活・食環境の現状」 説明：市川健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ②講演「良い肥満と悪い肥満―肥満のメカニズムと対策―」 講師：一般社団法人日本肥満症予防協会副理事長 宮崎滋氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7－（1）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・ 栄養調査	浦安市 1地区 高洲地区 29世帯60人 （生活習慣調査協力者及び20歳未満 の食物摂取状況調査協力者の計）	栄養摂取状況調査： 平成28年11月の任意の1日 身体状況調査：平成28年11月9日 【調査内容】 ・栄養摂取状況調査 世帯状況と世帯員個人の食事状況 ・生活習慣調査 ・身体状況調査 身長、体重（満1歳以上） 腹囲、血圧、血液検査、問診（満20歳以上） 歩数計による一日の運動量 （満20歳以上）

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表 7－（１）－オ－（ア）特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

指導内容	業者への指導（相談対応を含む）・普及啓発				
	個別指導・個別相談		集団指導・普及啓発		
	実指導食品数	延指導・相談件数	回数	延対象者数	内容
特別用途食品及び特定保健用食品について	－ （－）	－	－	－ （－）	
食品表示基準について	9	10	－	－	
栄養機能食品について	2	2	－	－	
機能性表示食品について	－	－	－	－	
虚偽誇大広告について	2	2	－	－	
その他一般食品について （いわゆる健康食品を含む）	2	2	－	－	
	県民への指導（相談対応を含む）・普及啓発				
	個別指導・個別相談		集団指導・普及啓発		
	実指導食品数	延指導・相談件数	回数	延対象者数	内容
特別用途食品及び特定保健用食品について	－ （－）	－ （－）	－ （－）	－ （－）	
食品表示基準について	－	－	－	－	
栄養機能食品について	－	－	－	－	
機能性表示食品について	－	－	－	－	
虚偽誇大広告について	－	－	－	－	
その他一般食品について （いわゆる健康食品を含む）	－	－	－	－	

（ ）内は、特定保健用食品再掲

表 7－（１）－オ－（イ）特別用途食品許可取り扱い件数（単位：件）

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	0（0）
消滅事由該当届出数	0（0）
申請・表示事項変更届出数	0（0）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

表7－（１）－オ－（ウ）特別用途食品に対する検査・指導件数（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
－（－）	－（－）	－（－）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－（１）－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況（再掲）

個 別		集団指導		
内容	延人数	内容	延回数	延参加人数
国民健康・栄養調査結果返却時に「グー・パー食生活リーフレット」を同封	47	管内食品衛生協会主催の飲食店等検便集中受付会場において、管内の栄養課題の周知並びにグー・パー食生活リーフレットの配付・説明	4	526
		管内食品衛生協会主催の指導員伝達講習会の場において、飲食店関係者向けリーフレットの配付・説明によりグー・パー食生活を普及啓発	1	76

(2) 給食施設指導

健康増進法等に基づき、管内特定給食施設等における栄養管理の実施を確保するために個別指導及び集団指導を実施した。

個別指導は、健康増進法に基づく指導に加え、介護老人保健施設には介護保険法に基づく実地指導を、病院には医療法に基づく立入検査を行った。

平成28年度の施設種別の集団指導では、他の種別と比較して特に肥満者の割合が高く、生活習慣病の発症しやすい年代に給食を提供している事業所に対しては「事業所給食施設研修会」を、近年新規開設施設数の増加が著しく、管内給食施設で最も多くを占めることから地域の健康課題の解決のための一助となり得る保育所に対しては「保育所給食施設研修会」を実施した。

給食施設状況

表7－(2) 給食施設状況 (単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		栄養成分 表示施設	栄養教育 実施施設
	施 設 数	管理 栄養士 数	施 設 数	管理 栄養士 数	栄養 士 数	施 設 数	栄養 士 数		施 設 数	管理 栄養士 数		
237	69	83	49	91	99	89	118	30	7	42	228	194

ア 給食施設指導状況

表7－(2)－ア 給食施設指導状況 (単位：件)

区 分			計	特定給食施設		その他の給 食施設
				1回300食以 上又は 1日750食以 上	1回100食以 上又は 1日250食以 上	
個別 指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	128	46	49	33
		その他指導施設数	184	21	94	69
	喫食者への栄養・運動指導延人数		0	－	－	－
集団 指導	給食管理指導	回 数	3			
		延 施 設 数	158	13	109	36
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	0	－	－	－
		延 人 数	0	－	－	－

イ 給食施設個別巡回指導

表7－（2）－イ 給食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみの施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)
合 計		237	128	69	35	49	27	89	47	30	19
指定施設①	計	7	7	1	1	6	6				
	学校										
	病院	7	7	1	1	6	6				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
300食/回、750食/日以上(指定施設を除く)②	計	63	39	33	17	3	3	20	14	7	5
	学校	48	25	29	13	1	1	17	11	1	
	病院	1	1			1	1				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	14	13	4	4	1	1	3	3	6	5
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他											
100食/回、250食/日以上(①、②除く)	計	111	49	25	9	29	12	41	19	16	9
	学校	7	5	3	1	1	1	2	2	1	1
	病院	5	5	1	1	4	4				
	介護老人保健施設	9	2	2		7	2				
	老人福祉施設	11	4	4		7	4				
	児童福祉施設	59	20	12	6	8		31	10	8	4
	社会福祉施設	3	1	2				1	1		
	事業所	13	11	1	1	1	1	7	6	4	3
	寄宿舎	2	1							2	1
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	2				1				1		
その他の給食施設	計	56	33	10	8	11	6	28	14	7	5
	学校	1								1	
	病院	2	2			2	2				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	10	3	4	2	1		5	1		
	児童福祉施設	35	21	5	5	8	4	20	10	2	2
	社会福祉施設										
	事業所	1	1					1	1		
	寄宿舎	2	2	1	1			1	1		
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	5	4					1	1	4		

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表 7－（2）－ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届 出 数	10	3	46
指 導 数	18	3	18

エ 給食施設集団指導

表 7－（2）－エ 給食施設集団指導状況

名 称	開催年月日	対象者	参加人数	内 容
給食施設従事者研修会	平成 28 年 6 月 22 日	管内給食施設（届出外給食施設を含む）、管内市	140 人 （内、12 人は給食施設外）	①講演「HACCP に基づく給食施設における衛生管理－汚染と異物混入を考える－」 講師：習志野健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 ②講話「市川健康福祉センター管内の健康・栄養課題と給食施設の役割について」 講師：市川健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
事業所給食施設研修会	平成 28 年 9 月 27 日	管内給食施設（事業所・寄宿舎）	21 人	①オリエンテーション「管内事業所給食の現状と課題」 説明：市川健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ②講話「食堂を活用した健康経営～健康診断の法的枠組み～」 説明：船橋労働基準監督署安全衛生課 ③事例発表「健診結果を活用した食堂運営～管理者の立場から～」 発表：TDK(株)テクニカルセンター人事課 ④事例発表「健診結果を活用した食堂運営～給食運営者の立場から～」 発表：(株)和たなべ 管理栄養士 ⑤グループワーク・情報交換
保育所給食施設研修会	平成 29 年 2 月 21 日	児童福祉施設（届出外給食施設を含む）、管内市保育主管課	57 人 （内、2 人は給食施設外）	①オリエンテーション「管内保育所給食の現状と課題」 説明：市川健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員 ②講演「保育所給食を通じたこども・家庭への情報発信」 講師：聖徳大学短期大学部 保育科 講師 小野友紀氏 ③グループ討議

(3) 健康ちば協力店推進事業

表 7－(3)－ア 健康ちば協力店登録状況

28 年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
3	－	3	148 (内取消 46)	102

表 7－(3)－イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人数	回 数	延店舗数	延人数	回 数	延人数
個別指導		－		－	－		－
集団指導	1	76	－	－	－	2	600
合 計		76		0	0		600

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表 7－(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人数
市川保健所管内 栄養士会	138	地域住民の栄養改善に寄与する栄養士の資質向上等	役員会、総会、研修会（会の事業推進への助言等）	235
市川保健所管内 調理師会	358	地域住民の栄養改善に寄与する調理師の資質向上	理事会、研修会等（会の事業推進への助言及び研修会講師）	69

(5) 市町村への技術・助言支援等

ア 市町村への技術支援、助言

「12 市町村支援」に掲載

イ 管内行政栄養士研究会等の開催

表 7－(5)－イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人数	主な内容
管内栄養関係事業担当者業務連絡会 (再掲)	2	11	※表 7－(1)－ウ 地域における健康づくり推進研修会に明記した内容と同じ

※ 市町村（在宅）栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7－(6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位：人)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成26年度	148	84	56.8	195	40	42
平成27年度	124	71	57.3	172	33	35
平成28年度	110	71	64.5	185	36	37

(7) その他

表7－(7) その他

事業名	事業概要	回数	参加人数
管理栄養士養成校 学生実習生受入れ	管理栄養士養成校学生の 臨地実習	合同講義1日間 実習2日間×2グループ	3校9人

8 歯科保健事業

難病及び障害者等については、歯科保健の重要性を理解し実践することを目的として、不定期で事業を実施している（県内5地区のみ）。

市川市のむし歯予防大会を関係団体と共催で実施し、住民に対して歯の重要性の認識を高めるための活動をした。

（1）難病及び精神障害者等歯科保健サービス

表8－（1）難病及び精神障害者等歯科保健サービス実施状況

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人数
実施なし	－	－	－	－

（2）その他（各保健所の独自事業）

表8－（2）その他（各保健所の独自事業）

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人数
第42回市川市 むし歯予防大会	市民	平成28年 6月1日	市川市歯科医師会及び市川市教育委員会主催事業の共催（健歯児童・生徒及び歯科衛生作品にかかる賞状の交付等）	（賞状 152枚 交付）
平成28年歯科疾患 実態調査	浦安市民 高洲地区 1地区	平成28年 11月9日 （国民健康・ 栄養調査の身 体状況調査と 共に実施）	・歯や口の状態、歯をみがく頻度、歯や口の清掃状況 ・問診 フッ化物応用の経験の有無、顎関節の異常 ・口腔内診査 歯の状況、歯肉の状況、歯列・咬合の状況	27世帯 58人

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成28年6月30日現在）

(単位:件)

年度 市町村	管 内 人 口	精 神 科 病 院 数	病 床 数	人 口 万 対 病 床 数	入 県 内 病 院 患 者 数 の	人 口 万 対 入 院 患 者 数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内の病院への 入院患者数				圏外の病院 への入院患 者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成26年度	634,860	3	817	12.9	630	9.9	314	49.8	183	29.0	133	21.1
平成27年度	640,083	3	810	12.7	594	9.3	301	50.7	174	29.3	119	20.0
平成28年度	651,927	3	810	12.4	586	9.0	295	50.3	183	31.2	108	18.4
市川市	485,693	3	810	16.7	517	10.6	271	52.4	152	29.4	94	18.2
浦安市	166,234	-	-	-	69	4.2	24	34.8	31	44.9	14	20.3
県全体	6,239,018	52	12,567	20.1	8,719	14.0	5,814	66.7	621	7.1	2,284	26.2

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－(1)－イ 管内病院からの届出等の状況 (単位:件)

種別 年度	医療保護 入院届	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成26年度	665	5	667	50	5	325	7
平成27年度	763	13	767	41	7	306	9
平成28年度	707	4	727	64	8	285	18

※平成28年度の「その他」は、転院許可申請 18 件、仮退院申請 0 件、再入院届 0 件の合計

(2) 措置入院関係

精神保健福祉法に基づき、必要に応じ精神保健指定医による診察を実施し、精神障害による自傷他害のおそれがあると診断された者については、指定病院まで移送し入院措置をする等、最優先的対応が求められている。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況 (単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成26年度	238	154	51	7	10	28	0	16	0	0	26
平成27年度	254	187	44	1	12	12	3	7	0	0	22
平成28年度	283	239	35	1	6	11	0	2	0	0	23
法第22条 一般人からの申請	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
法第23条 警察官からの通報	268	232	27	1	6	11	0	2	0	0	19
法第24条 検察官からの通報	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療 機関管理者及び保護観察所長 からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－（2）－イ 措置診察を受けた対象者の病名（単位：件）

病 名 年 度 結 果		総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他		
					認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他								
					F0		F1										
					F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10							F15	
					F4	F6	F7	G40									
平成26年度		84	32	4	0	2	6	0	5	2	3	1	2	8	19		
平成27年度		67	35	7	3	0	3	2	0	8	1	3	1	2	2		
平成28年度		44	21	5	0	1	0	3	1	1	1	1	0	10	0		
診察 実施	要 措 置	35	21	5	0	1	0	2	0	0	0	0	0	6	0		
	不要措置	9	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	4	0		

※1 その他には病名不詳を含む。

2 F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－（2）－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）（単位：人）

入院期間 年度	総 数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成26年度	8	7	0	1	0
平成27年度	10	10	0	0	0
平成28年度	7	5	1	1	0

表9－（2）－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）（単位：人）

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	5	0	5	0	0	1	4	0	0	19
訪問	49	26	23	0	3	19	19	8	0	166
電話	283	112	171	0	19	112	118	34	0	1920

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況（単位：件）

年度 \ 区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成26年度	0	0	0
平成27年度	0	0	0
平成28年度	0	0	0

(4) 自立支援医療（精神通院）及び保健福祉制度関係

平成14年から自立支援医療（精神通院医療）及び精神保健福祉手帳の申請受付・交付窓口は市町村に移譲されている。

表9－（4）－ア 自立支援医療（精神通院医療）利用者数（各年3月31日時点）（単位：人）

年度・市町村	利用者数
平成26年度	6,931
平成27年度	7,488
平成28年度	7,924
市川市	6,389
浦安市	1,535

表9－（4）－イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年3月31日現在）（単位：人）

年度・市町村 \ 級	計	1級	2級	3級
平成26年度	3583	643	2048	892
平成27年度	3938	693	2224	1,021
平成28年度	4294	733	2388	1173
市川市	3444	612	1923	909
浦安市	850	121	465	264

表9－（4）－ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況（単位：件）

年度 \ 区分	生計同一証明書 常時介護証明書 発行件数	社会適応訓練 申込書受理件数
平成26年度	10	0
平成27年度	17	0
平成28年度	19	0

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健福祉相談員や保健師等保健所職員による相談（面接・電話）、訪問援助を随時実施している。精神科
 嘱託医師による定例相談及び訪問指導は、月 4 回実施（うち 1 回は浦安市健康センターを会場として開催）
 しており、精神疾患とその治療や心の健康に関する相談等を受けている。

表 9－（５）－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1 金曜日	13:30～15:30	市川健康福祉センター (市川保健所)
毎月 第2 月曜日	13:30～15:30	
毎月 第3 火曜日	13:30～15:30	
毎月 第3 金曜日	14:00～16:00	浦安市健康センター

表 9－（５）－イ 対象者の性・年齢 (単位：人)

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
平成26年度	306	162	144	0	8	99	143	46	10	778
平成27年度	249	108	141	0	9	81	119	35	5	924
平成28年度	225	107	118	0	14	60	99	49	3	954
市川市	179	86	93	0	11	48	77	40	3	799
浦安市	32	15	17	0	3	7	17	5	0	119
管外・不明	14	6	8	0	0	5	5	4	0	36
相談	121	61	60	0	9	28	55	28	2	354
訪問	104	46	58	0	5	32	44	21	1	600

※1 同一人により相談を 3 回・訪問を 2 回した場合、相談実数 1、訪問実数 1、計 2 となり、延べ回数は 5 回となる。

2 電話相談は計上していない。

表 9－（５）－ウ 電話・メール相談延件数 (単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	5181	2514	2614	53
メール	200	184	12	4

表9－（５）－エ 相談の種別（延数）

（単位：件）

種 別 区分		総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
			関 診 す る 療 こ と に	社 会 復 帰 等	生 活 支 援	そ の 他 の 相 談	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他 の 中 毒							
平成26年度		778	445	54	117	53	17	9	11	0	1	29	2	33	一	7
平成27年度		924	539	35	141	107	46	1	2	8	2	13	3	20	0	7
平成28年度		956	608	80	114	40	31	3	3	4	1	1	7	60	2	2
相 談	計	354	198	14	48	18	20	0	3	4	1	1	7	38	1	1
	男	177	100	10	29	12	16	0	0	1	1	0	3	5	0	0
	女	177	98	4	19	6	4	0	3	3	0	1	4	33	1	1
訪 問	計	602	410	66	66	22	11	3	0	0	0	0	0	22	1	1
	男	253	181	25	19	9	7	0	0	0	0	0	0	12	0	0
	女	349	229	41	47	13	4	3	0	0	0	0	0	10	1	1

表9－（５）－オ 援助の内容（延数）（単位：件） （注）援助内容は重複あり

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
平成26年度	1307	113	288	92	45	269	452	48
平成27年度	1348	111	139	106	29	417	477	69
平成28年度	1488	85	152	164	54	447	533	53

(6) 精神障害者社会復帰関係

デイケアクラブに代えて、平成 24 年度から「早期医療つなぐサポート」を実施している。

目的：精神疾患により、社会とのつながりを遮断している未治療者及び医療中断者を医療につなげる。

対象者

- ① 精神症状により社会生活を避け、または社会参加できず、生活に支障をきたしている者。
- ② 必要な医療を受けていない者、中断している者。もしくは、医療につながっているが、中断等のおそれがあり、支援を要する者
- ③ 本人または家族が支援を拒否しない者。

方法：指導員 3 名（月 4 回）を雇用して、職員とともに継続的な関わりを実施している。

表 9－（6） 早期医療つなぐサポートの活動状況 （単位：件）

年度	区分	実人数	継続中 ケース	終了ケース		
				医療につながった 〔入院・通院〕	地域につながった	その他
平成 26 年度		29	10	7 [2・5]	9	3
平成 27 年度		25	10	4 [2・2]	2	9
平成 28 年度		24	11	2 [0・2]	5	6

(7) 地域精神保健福祉関係

表 9－（7）－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
市川・浦安地域精神保健福祉 連絡協議会	H29.2.1	28	委員 (管内関係機関・団体関係者)
精神保健福祉業務従事者研修会	H28.10.5	35	地域精神保健福祉業務従事者

表 9－（7）－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実件数	延件数	
こころの健康のつどい	H28.11.29	63	63	講演 「気になりませんか物忘れ～認知症につい て専門医からお伝えします」

表 9－（7）－ウ 組織育成 （単位：件）

区分	種別	総数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数		103	78	20	5

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」で対象となる精神障害者に対し、医療機関・地域が連携して一体的なケアを提供するため、医療機関や保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域においては訪問指導等の支援を実施している。

表 9－(8) 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	CPA 会議	ケア会議	その他
参加回数	2	7	0

- ・平成 17 年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA 会議（Care Programe Approach の略）とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村 \ 治 療	核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成26年度	209	19	107
平成27年度	221	4	309
平成28年度	256	3	152
市川市	213	2	125
浦安市	43	1	27

1.1 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患56疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）に基づく医療費助成制度が平成27年1月1日に施行された。それに伴い対象疾患は110疾患に拡充され、さらに同年7月1日には、306疾患に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表1.1-（1）特定疾患治療研究費受給者状況

（単位：件）

疾 患 名 下段：重症（内数）	年度・市町村別				
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	市川市	浦安市
総 数	19 (19)	10 (8)	6 (6)	4 (4)	2 (2)
1 ベーチェット病	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
2 多発性硬化症	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
3 重症筋無力症	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
4 全身エリテマトーデス	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
5 スモン	4 4	5 5	5 5	4 4	1 1
6 再生不良性貧血	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
7 サルコイドーシス	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
8 筋委縮性側索硬化症	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
9 強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
10 特発性血小板減少性紫斑病	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
11 結節性動脈周囲炎	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
12 潰瘍性大腸炎	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
13 大動脈炎症候群	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

疾患名 下段：重症（内数）	年度・市町村別			市川市	浦安市
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度		
14 ビュルガー病	-	-	-	-	-
15 天疱瘡	-	-	-	-	-
16 脊髄小脳変性症	-	-	-	-	-
17 クローン病	-	-	-	-	-
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0	0	0
19 悪性関節リウマチ	-	-	-	-	-
20 パーキンソン病関連疾患	-	-	-	-	-
21 アミロイドーシス	-	-	-	-	-
22 後縦靱帯骨化症	-	-	-	-	-
23 ハンチントン病	-	-	-	-	-
24 モヤモヤ病	-	-	-	-	-
25 ウェルゲナー肉芽腫症	-	-	-	-	-
26 特発性拡張型（うっ血型）心筋症	-	-	-	-	-
27 多系統萎縮症	-	-	-	-	-
28 表皮水疱症	-	-	-	-	-
29 膿胞性乾癬	-	-	-	-	-
30 広範脊柱管狭窄症	-	-	-	-	-
31 原発性胆汁性肝硬変	-	-	-	-	-
32 重症急性膵炎	11	2	1	0	1
	11	2	1	0	1

疾患名 下段：重症（内数）	年度・市町村別			市川市	浦安市
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度		
33 特発性大腿骨頭壊死症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
34 混合性結合組織病	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
35 原発性免疫不全症候群	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
36 特発性間質性肺炎	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
37 網膜色素変性症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
38 プリオン病	4	3	0	0	0
	4	1	0	0	0
39 肺動脈性肺高血圧症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
40 神経線維腫症Ⅰ型Ⅱ型	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
42 バッド・キアリ症候群	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
43 特発性慢性肺血拴塞栓症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
44 -1 ライソゾーム病	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
44 -2 ファブリー（F a b r y）病	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
45 副腎白質ジストロフィー	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
47 脊髄性筋萎縮症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
48 球脊髄性筋萎縮症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
50 肥大型心筋症	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
52 ミトコンドリア病	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
53 リンパ脈管筋腫症（LAM）	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

疾 患 名 下段：重症（内数）	年度・市町村別			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
54 重症多形滲出性紅斑（急性期）	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
55 黄色靱帯骨化症	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
56 間脳下垂体機能障害 （PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常 症、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常 症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能 低下症）	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位：件)

疾 患 名 下段：重症（内数）	年 度・市町村別		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
	総 数		3418 (412)	3880 (427)	4189 (422)	3213 (339)	976 (83)
1 球脊髄性筋萎縮症			7 3	7 3	7 3	5 2	2 1
2 筋萎縮性側索硬化症			39 33	50 39	53 37	50 36	3 1
3 脊髄性筋萎縮症			1 1	1 0	1 1	0 0	1 1
5 進行性核上性麻痺			22 9	30 10	27 9	24 9	3 0
6 パーキンソン病			442 81	487 77	534 74	410 63	124 11
7 大脳皮質基底核変性症			14 5	20 4	25 3	23 3	2 0
8 ハンチントン病			1 1	1 1	1 1	0 0	1 1
10 シャルコー・マリー・ トゥース病			0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
11 重症筋無力症			76 2	81 2	89 3	68 3	21 0
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎			76 17	87 18	91 14	68 13	23 1
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/ 多巣性運動ニューロパチー			14 1	16 1	18 1	12 0	6 1
15 封入体筋炎			0 0	0 0	1 0	1 0	0 0
17 多系統萎縮症			36 19	40 18	37 13	26 10	11 3
18 脊髄小脳変性症			99 39	105 38	114 36	87 26	27 10
19 ライソゾーム病			6 1	6 1	6 1	5 1	1 0
20 副腎白質ジストロフィー			1 0	1 0	0 0	0 0	0 0
21 ミトコンドリア病			7 3	9 3	8 3	7 2	1 1

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
22 もやもや病	64 7	70 9	70 9	56 8	14 1
23 プリオン病	3 3	3 1	3 1	3 1	0 0
26 HTLV-1 関連脊髄症	0 0	2 0	3 0	2 0	1 0
28 全身性アミロイドーシス	6 2	7 1	13 1	11 1	2 0
34 神経線維腫症	22 0	23 0	23 0	21 0	2 0
35 天疱瘡	23 0	26 0	26 0	21 0	5 0
36 表皮水疱症	1 0	1 0	1 0	1 0	0 0
37 膿疱性乾癬（汎発型）	3 1	3 1	3 1	3 1	0 0
39 中毒性表皮壊死症	1 1	1 1	1 0	1 0	0 0
40 高安動脈炎	25 4	30 4	29 4	16 2	13 2
41 巨細胞性動脈炎	0 0	2 0	2 0	2 0	0 0
42 結節性多発動脈炎	19 1	20 1	22 2	21 2	1 0
43 顕微鏡的多発血管炎	25 2	25 2	27 3	24 3	3 0
44 多発血管炎性肉芽腫症	8 1	8 1	8 1	4 1	4 0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0 0	4 0	7 1	6 1	1 0
46 悪性関節リウマチ	50 13	53 14	49 14	35 9	14 5
47 バージャー病	14 1	16 1	16 0	13 0	3 0
49 全身性エリテマトーデス	255 11	269 11	282 11	199 5	83 6
50 皮膚筋炎/多発性筋炎	73 6	83 7	86 8	63 6	23 2
51 全身性強皮症	106 3	110 3	114 2	90 2	24 0
52 混合性結合組織病	42 1	40 1	42 1	26 0	16 1
53 シェーグレン症候群	6 0	23 0	42 0	32 0	10 0

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
54 成人スチル病	5 0	10 1	12 1	11 1	1 0
55 再発性多発軟骨炎症	0 0	3 0	3 0	2 0	1 0
56 ベーチェット病	71 3	78 4	80 3	64 3	16 0
57 特発性拡張型心筋症	86 17	90 15	94 16	86 12	8 4
58 肥大型心筋症	12 7	13 6	15 6	12 4	3 2
59 拘束型心筋症	0 0	1 1	1 1	1 1	0 0
60 再生不良性貧血	33 0	41 1	38 2	31 1	7 1
61 自己免疫性溶血性貧血	2 0	5 0	5 0	4 0	1 0
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2 0	3 2	4 2	4 2	0 0
63 特発性血小板減少性紫斑病	101 0	102 1	110 1	86 1	24 0
64 血栓性血小板減少性紫斑病	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
65 原発性免疫不全症候群	9 0	9 0	11 0	7 0	4 0
66 IgA 腎症	1 0	20 0	37 1	27 0	10 1
67 多発性嚢胞腎	6 0	22 2	36 3	28 2	8 1
68 黄色靱帯骨化症	11 0	17 0	18 0	15 0	3 0
69 後縦靱帯骨化症	96 17	115 17	117 17	94 15	23 2
70 広範脊柱管狭窄症	9 2	9 1	13 2	9 2	4 0
71 特発性大腿骨頭壊死症	57 0	62 0	93 1	73 1	20 0
72 下垂体性 ADH 分泌異常症	10 0	12 1	13 1	10 1	3 0

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
74 下垂体性 PRL 分泌亢進症	6 0	6 0	4 0	3 0	1 0
75 クッシング病	1 0	1 0	2 0	2 0	0 0
77 下垂体性成長ホルモン症 分泌亢進	15 0	15 0	14 0	9 0	5 0
78 下垂体前葉機能低下症	51 2	55 2	58 3	40 3	18 0
79 家族性高コレステロール血症 （ホモ結合体）	0 0	1 0	1 1	1 1	0 0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	0 0	2 0	2 0	1 0	1 0
83 アジソン病	0 0	1 0	2 0	1 0	1 0
84 サルコイドーシス	82 12	80 11	80 10	63 8	17 2
85 特発性間質性肺炎	30 0	42 2	62 6	43 2	19 4
86 肺動脈性肺高血圧症	10 3	10 3	17 3	13 3	4 0
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14 0	18 0	20 0	18 0	2 0
89 リンパ脈管筋腫症	6 1	8 1	8 1	4 0	4 1
90 網膜色素変性症	134 74	144 74	140 69	111 54	29 15
91 バッド・キアリ症候群	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0
92 特発性門脈圧亢進症	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
93 原発性胆汁性肝硬変	85 1	89 1	89 2	71 2	18 0
94 原発性硬化性胆管炎			4 0	4 0	0 0
95 自己免疫性肝炎	1 0	5 0	7 1	6 0	1 1
96 クロウン病	164 1	177 1	184 5	139 4	45 1

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
97 潰瘍性大腸炎	724 0	799 2	805 1	607 1	198 0
98 好酸球性消化管疾患	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0 0	1 0	1 0	0 0	1 0
113 筋ジストロフィー	0 0	3 0	4 0	4 0	0 0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
127 前頭側頭葉変性症	0 0	2 1	3 1	3 1	0 0
129 痙攣重積型（二相性）急性脳症	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0
144 レノックス・ガストー症候群	0 0	1 1	1 1	1 1	0 0
145 ウエスト症候群	0 0	1 0	1 0	0 0	1 0
158 結節性硬化症	0 0	2 0	2 0	2 0	0 0
159 色素性乾皮症	0 0	1 0	1 0	0 0	1 0
160 先天性魚鱗癬	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
162 類天疱瘡 （後天性表皮水疱症を含む。）	0 0	2 0	8 1	8 1	0 0
163 特発性後天性全身性無汗症	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0
166 弾性繊維性仮性黄色腫	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
167 マルファン症候群	0 0	3 0	6 0	5 0	1 0
171 ウィルソン病	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0
193 プラダー・ウィリ症候群	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
206 脆弱 X 症候群	0 0	0 0	2 0	2 0	0 0

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症（内数）	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	市川市	浦安市
212 三尖弁閉鎖症	0 0	1 0	1 0	0 0	1 0
215 ファロー四徴症	0 0	0 0	2 0	2 0	0 0
220 急速進行性糸球体腎炎	0 0	1 0	3 0	1 0	2 0
222 一次性ネフローゼ症候群	0 0	8 0	25 2	15 2	10 0
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0
226 間質性膀胱炎（ハンナ型）	0 0	1 0	1 0	0 0	1 0
227 オスラー病	0 0	1 0	1 0	1 0	0 0
238 ビタミン D 抵抗性くる病 /骨軟化症	0 0	2 0	2 0	2 0	0 0
240 フェニルケトン尿症	0 0	2 0	2 0	1 0	1 0
251 尿素サイクル異常症	0 0	2 1	2 0	1 0	1 0
271 強直性脊椎炎	0 0	2 0	2 0	2 0	0 0
281 クリッペル・トレノネー・ ウェバー症候群	0 0	1 0	2 0	1 0	1 0
283 後天性赤芽球癆	0 0	0 0	2 0	1 0	1 0
285 ファンconi貧血	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0
296 胆道閉鎖症	0 0	1 0	2 0	1 0	1 0
300 IgG4 関連疾患	0 0	0 0	6 0	4 0	2 0
302 レーベル遺伝性視神経症	0 0	1 0	2 0	1 0	1 0
306 好酸球性副鼻腔炎	0 0	8 0	14 0	11 0	3 0

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 1 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位：人)

年度	総数	市川市	浦安市
平成 26 年度	24	16	8
平成 27 年度	24	16	8
平成 28 年度	30	20	10

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 1 1 - (4) - ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位：人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成 26 年度	8	8	1	—	10	4	8	54
平成 27 年度	7	7	1	—	3	2	7	63
平成 28 年度	11	11	2	—	13	4	11	85

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 1 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 26 年度	2	11	1	11
平成 27 年度	2	7	3	7
平成 28 年度	1	1	1	1

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人数
平成 26 年度	平成 26 年 8 月 25 日	講演会 「震災に備えるケアマネージャー の役割について」(災害時対応マ ニュアルの作り方、活用方法につ いて) 講師：千葉県介護支援専門員協議 会 理事 助川 未枝保氏	ケアマネ・ 行政・難病 訪問相談員 (看護師)	56
平成 27 年度	平成 27 年 12 月 10 日	講演会 「神経難病療養者のケアプランっ てどう立てるの?～筋萎縮性側索 硬化症(ALS)療養者支援の実際 ～」 講師：清山居宅介護支援事業所 主任居宅介護支援専門員 大野 直子氏	ケアマネ・ 難病訪問相 談員(看護 師)	63
平成 28 年度	平成 29 年 1 月 24 日	1) 講話 「各市での防災対策～関係機関 との連絡体制を中心に～」 講師：市川市危機管理室 危機管理課長 浦安市総務部防災課長 2) 講演会 「災害対策のための地域連携～ DIG を用いた取り組み～」 講師：鎌倉女子大学教授 臺 有桂氏	訪問看護師 ・ケアマ ネ・行政	32

(注) 平成 26 年度・平成 27 年度は、「難病患者を対象とする医療・介護従事者研修」
として実施したものを掲載しています。

ウ 医療相談事業

表 1 1 - (4) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
平成 29 年 2 月 6 日	56	市川健康福祉 センター	ALS SCD MSA	1) 講演会 「日々の感情と上手く付き 合っていこう～アンガーマネジメ ントの視点から～」 講師：Summy 代表 島田真由美氏 2) 交流会 3) 個別相談会	9

エ 訪問指導事業

表 1 1 - (4) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成28年度
総 数	38	13	24
筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症	32	8	21
多 発 性 硬 化 症	—	—	—
パ ー キ ン ソ ン 病	1	—	2
多 系 統 萎 縮 症	3	1	—
脊 髄 小 脳 変 性 症	2	4	—
網 膜 色 素 変 性 症	—	—	—
そ の 他	—	—	1

オ 訪問診療等事業

表 1 1 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従 事 者 人 数					
	実 人 数	延 人 数		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理学 療法 士等	保 健 師	そ の 他
平成 26 年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 27 年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 28 年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

力 窓口相談事業

表 1 1 - (4) - 力 相談内容

(単位 : 人)

内 容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
相 談 者 数 (延)	574	24	61
申 請 等	485	10	54
医 療	16	11	25
家 庭 看 護	53	—	18
福 祉 制 度	12	2	15
就 労	—	—	—
就 学	—	—	—
食 事 ・ 栄 養	—	—	—
歯 科	—	—	—
そ の 他	8	1	18

1 2 市町村支援

広域的な視点から、市事業が円滑に推進や向上が図られるよう会議等に参加した。

表 1 2 市町村への支援状況

	会議・連絡				技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ	事業名	回数	職種
市川市	市川市保健推進員連絡会議	1	課・保	総会・保健所業務について			
	市川市学校保健理事会・評議会	1	課	市の学校保健の取組について			
	重度心身障害児者サポート会議	9	保	重症心身障害児者支援について			
	市川市要保護児童対策会議 (実務者会議)	11	保	事例検討			
	市川市自殺対策関係機関連絡会	2	課	市の自殺の現状と計画について			
	市川市自立支援協議会	4	精	地域の障害者等への支援体制の整備に関する協議			
	個別支援会議	51	精	処遇検討会議			
	圏域精神障害者地域移行支援協議会	5	精	圏域の関係機関の連携について			
	市川市食育関係機関連絡会	2	課	市食育推進計画の説明、各機関の事業実績・計画報告			
	市川市食生活改善推進連絡会	1	課・栄	総会・保健所業務について			
浦安市	浦安市要保護児童対策地域協議会 (実務者会議) (代表者会議)	11 1	保 医	要保護児童の情報共有と対応の検討			
	浦安市学校給食センター運営会議	2	栄	学校給食センターの運営及び事業計画の報告、意見交換			
	浦安市いのちとこころの支援対策協議会	3	課	市の自殺の現状と対策について			
	個別支援会議	3	精	処遇検討会議			

* 職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、
精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）